

RE-C602 Ring Pump RP-Q-F用 低電圧バイポーラーステッピングモーターコントローラー製品仕様

品名	低電圧バイポーラーステッピングモーターコントローラー
機種名	RE-C602: コントローラー
適用 Pump	RP-Q-Fシリーズ
駆動電圧	RP-Q-FL Type: VM = 3.3V RP-Q-FH Type: VM = 4.3V
入力電圧	RE-C602: DC 5V 1.0A (AC-DCアダプター: AC100-240V 50/60Hz: 付属品)
制御方式	バイポーラークoil用電圧駆動方式
励磁方式	1/4マイクロステップ駆動方式
モーター速度	1 ~ 2000 PPS (4Hz ~ 8000Hz) デジタル分周
機能	PCソフトウェアによる各種制御 SINGL-MODE PROGRAM-MODE

接続端子 RE-C602: サイズ: 100 × 100 × 34mm



- USB接続端子 (USB A-microB: 付属品)
- Pump接続端子-1
- Pump接続端子-2
- DC-IN端子
- Start-SW
- Start-LED (青)
- Pause-SW
- Pause-LED (緑)
- Power-LED (赤)

付属品 RE-C602 : Type_A - micro_B USBケーブル
 ・USBメモリー (PCソフトウェア)
 ・AC-DCアダプター



適応機種別: モーター速度 (P P S 指定) とモーター回転数

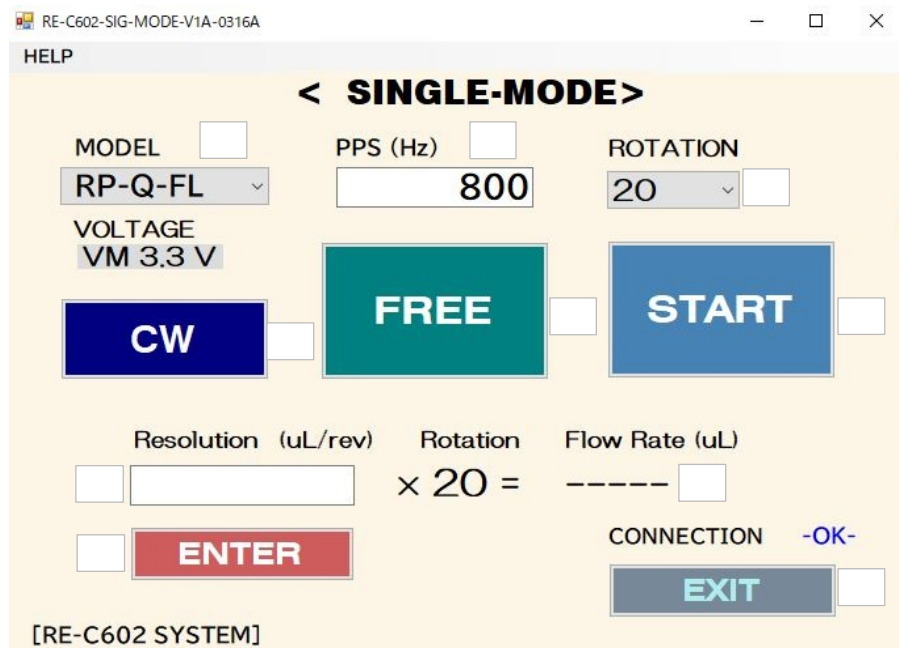
RP-Q-F(1/ 21.06ギア比モーター仕様)

モーター速度 PPS	1	5	10	50	100	200	300	400	500	800	900	1000	1400
モーター回転数 (rpm)	0.14	0.71	1.42	7.12	14.25	28.49	42.74	56.98	71.23	113.96	128.21	142.45	199.43

< 特記事項 >

- ・吐出量: 「1回転の吐出量 (uL/rev)」を入力下さい。(ポンプ出荷data添付)
- ・脱調 (モーターストップor振動状態) が発生しない範囲での指定制御で使用下さい。

SINGLE



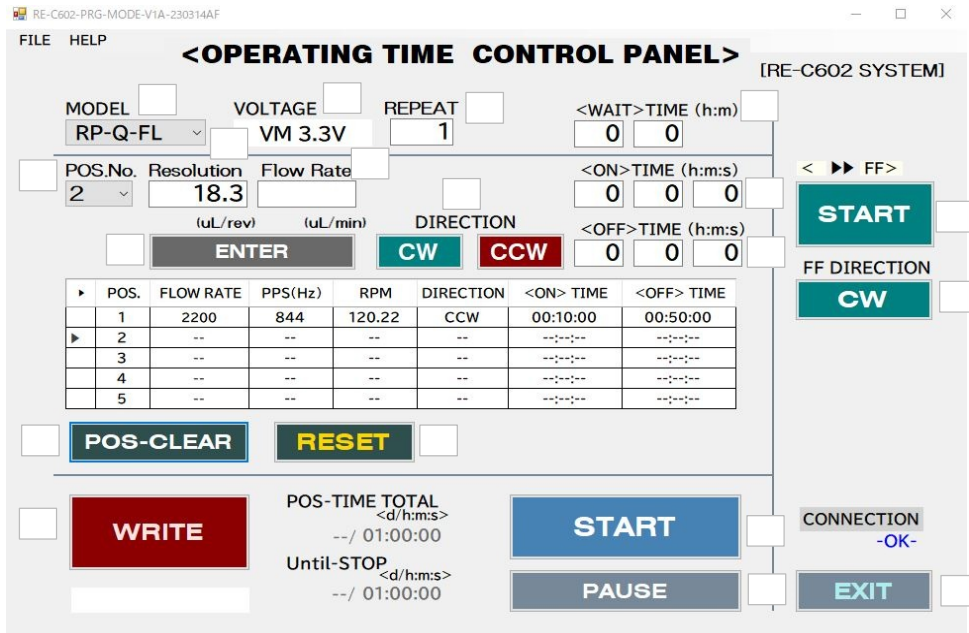
< 動作設定 >

適用Pumpの選択	「▼」をクリックして選択	RP-Q-FL RP-Q-FH 駆動電圧: VM値は自動設定される RP-Q-FL VM = 3.3V固定 RP-Q-FH VM = 4.3V固定
回転方向の選択	クリックして選択	CW(初期値)/CCWが切り替わる
モーター速度入力	1 ~ 2000PPS(整数値)	リミットあり
FREE	上記で設定した内容で動作する	溶液を供給する等 吐出チューブの先端まで溶液が供給されたら STOPをする

< 定量吐出量設定 >

Resolution「uL/rev」入力	Pumpに付属されている「1回転の吐出量(uL/rev)」値を入力する
ENTER	「uL/min」を確定させる 最適の「PPS値」と「回転数値」が自動計算表示される
ROTATIONの指定	「uL/rev」から希望の定量吐出量に近い回転回数を指定する 「▼」をクリックして選択 * 動作するPPS値はPumpの設定別に自動設定されている * 回転回数の指定は「1 ~ 30」までとなっている
Flow Rate(uL)	「1回転の吐出量(uL/rev)」値と「ROTATION」回数から定量吐出量を自動計算する
START	動作させる(自動でSTOPする)
EXIT	PCとの接続を解除する

PROGRAM



< 初期設定 >

適用Pumpの選択 「▼」をクリックして選択
 VOLTAGE 駆動電圧: VM値は自動設定される
 RP-Q-FL VM = 3.3V固定
 RP-Q-FH VM = 4.3V固定
 早送り動作-1 「▼」をクリックして選択 CW(初期値)/CCWが切り替わる
 早送り動作-2 溶液を供給するため適用Pumpの最適の高速動作でSTART/STOP
 *各CHに接続されたPump - MODELでSTARTして溶液を高速供給する
 吐出チューブの先端まで溶液が供給されたらSTOPをクリックする

< PROGRAM設定 >

Resolution「uL/rev」入力 Pumpに付属されている「1回転の吐出量(uL/rev)」値を入力する
 Flow Rate「uL/min」を指定 希望の吐出量(uL/min)を入力する
 ENTER ENTERをクリックして「Resolution」と「Flow Rate」を確定させる
 最適の「PPS値」と「回転数値」が自動計算表示される
 DIRECTION(回転方向)の選択 CW/CCWの指定
 運転時間 運転時間を設定をする
 *00h00m01s~99h59m59sまで設定可能
 停止時間 停止時間を設定をする
 *00h00m01s~99h59m59sまで設定可能
 POS-CLEAR のPOS指定でPOS1~POS5を選択後クリアできる(設定の再入力用)
 RESET POS1~POS5全てRESETする
 POSを指定 「▼」をクリックして選択
 POS1~5までのプログラム条件が設定可能
 ~ の繰り返しで
 「吐出量・(PPS & RPMは自動計算表示)・ ENTER・ 回転方向・ 運転時間・ 停止時間」
 がPOSに反映される
 POS1~POS5までのテーブル設定が可能となっている
 REPEAT 設定テーブルPOS1~POS5のREPEAT回数を指定する
 1~99回のREPEAT回数を指定入力する(初期値は「1」)
 WAIT TIME(h:m) START時間をズラす事が可能 入力した「h:m」

< 書込設定 >

WRITE 「PROGRAM」内容を本体のROM(メモリー)へ書き込む(*書き込んでいる間は「WAIT」)

<動作Mode>

「本体SW-START」
「本体SW-PAUSE」

* PCレス 本体のSW(スイッチ)の動作で「START/STOP」させる。
* PCレス 本体のSW(スイッチ)の動作で「PAUSE」ON/OFFを切り替える

「PC-START」

START

PCに「USB接続した状態」で「START/STOP」動作指示
* クリック毎に「START」「STOP」と切替わる

PAUSE

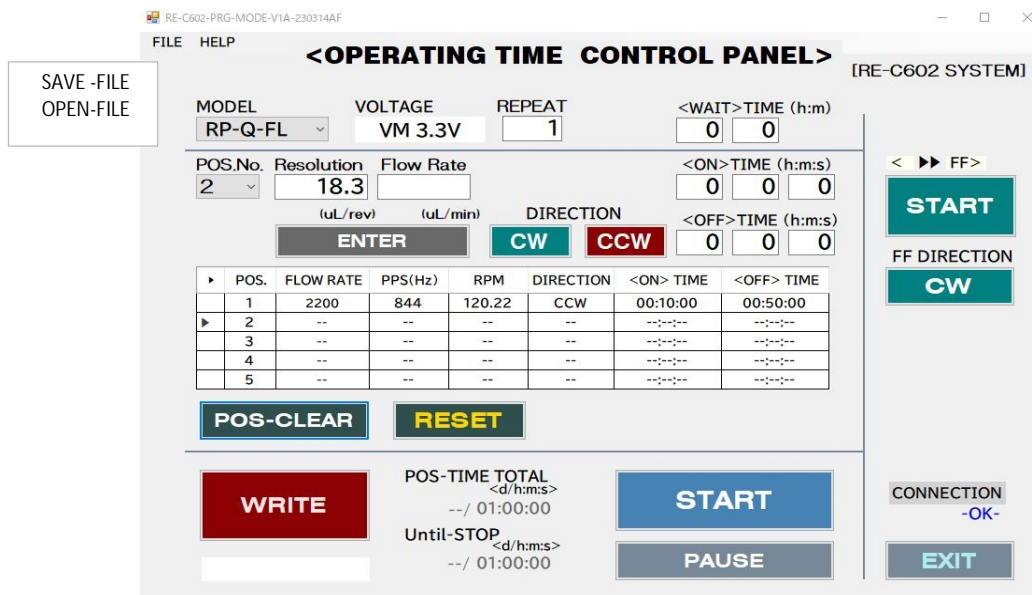
PCに「USB接続した状態」で「PAUSE」動作指示
* クリック毎に「PAUSE」「RESTART」「PAUSE」と切替わる

EXIT

PCとの接続を解除する

*PC側から制御する場合は本体SWの「START」「PAUSE」は必ず<OFF>にして
ください。動作が不安定になる場合があります。

<SAVE-FILE / OPEN FILE>



SAVE-FILE
OPEN-FILE

SAVE-FILE

プログラムした内容を保存できます。(任意のファイル名)

OPEN-FILE

保存されているプログラムを呼び出します。
* プログラムを呼び出したら、プログラム内容を「WRITE」キーをクリックして本体に書き込んで下さい。